

群馬県内の柄鏡形(敷石)住居集成

谷藤 保彦 関根 慎二 鈴木 佑太郎

(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. はじめに | 4. 敷石に使用される石材の傾向(地域性) |
| 2. 群馬県内の集成 | 5. おわりに |
| 3. 東毛・西毛・北毛地域での変遷概略 | |

— 要 旨 —

縄文時代の住居の中でも敷石住居や柄鏡形住居・柄鏡形敷石住居の存在は、古くから注目されてきた。群馬県内においては、大正15(1926)年の前橋市筑井遺跡の敷石住居が初例で、昭和6・12年にみなかみ町(旧水上町)大穴の敷石住居は、昭和19年に「水上石器時代住居跡」として史跡指定を受けている。昭和27年には高崎市(旧倉渕村)の長井(権田)遺跡、昭和42年に渋川市(旧北橋村)小室遺跡、昭和47年に高山村中山遺跡で敷石住居が発見され県指定史跡に指定されている。その後、渋川市(旧赤城村)三原田遺跡をはじめ、多くの遺跡調査で柄鏡形(敷石)住居が検出されてきた。これまでも、幾度か集成が行われてきた経緯はあるが、近年においても未だ増加し続けている。本稿では、現時点までの集成を行うと共に、時期的な変遷、形態的な差異および小地域的な様相差等々の、様々な検討には踏み込めなかった。

群馬県内の柄鏡形(敷石)住居を集成した結果、検出した遺跡は195遺跡を数え、その住居数は630軒に達する。東毛・西毛・北毛の3地域に分け、代表的な各時期の柄鏡形(敷石)住居を示したが、中期後葉期に柄鏡形の前段となる小張出しをもつ住居(小張出し部に対ピット状の穴をもつ)の存在、さらに敷石住居の存在が確認でき、同期の新しい時期になると明らかに張出し部をもつ柄鏡形敷石住居が現れている。続く中期末葉には柄鏡形敷石住居の確立と共に増加し、連結部に石囲施設が付随する例もある。柄鏡形敷石住居が盛行する後期初頭は、先行期の住居形態をほぼそのまま踏襲し、後期前葉になると張出し部形状に変化がみられ、さらに主体部形状にも変化が生じだしている。後期中葉には柄鏡形敷石住居が激減し、後期後葉から晩期になると方形住居の入り口部として方形の小張出し部をもつ住居へと変化している。また、敷石に使用される石材の傾向について、その概略を触れた。

キーワード

対象時代 縄文時代
対象地域 群馬県
研究対象 柄鏡形敷石住居

1. はじめに

縄文時代の住居の中でも、床に石を敷き詰めた敷石住居は、大正13(1924)年に発見された東京都町田市の牟場遺跡が初例となり注目された。以後、柄鏡状を呈した柄鏡形住居・柄鏡形敷石住居と共に、多くの研究者によって論究されてきた。

群馬県内においては、大正15(1926)年に調査された前橋市筑井遺跡での敷石住居が初例のようである。昭和6(1931)年にみなかみ町(旧水上町)大穴で畑中から発見された敷石住居、さらに昭和12(1937)年に発見された別な敷石住居と共に、昭和19(1944)年に「水上石器時代住居跡」として史跡指定を受け、覆屋保存棟で保護されている。一方、県内の敷石住居の存在については、岩沢昭作の「勢多郡第一部乙種学事会域内郷土資料踏査巡見記」『毛野 第3巻・毛野時報 第3号』(昭和10年)でも垣間見ることができる。また、昭和12年には譲原遺跡で敷石住居が発見され、昭和23(1948)年に史跡指定を受ける。昭和27(1952)年になると高崎市(旧倉渕村)の長井(権田)遺跡で敷石住居が発見され翌年に県指定史跡となって保存。昭和29(1954)年には安中市原市の築瀬遺跡で敷石住居が発見される。昭和32(1957)年には藤岡市上日野の坂野遺跡、みなかみ町(旧新治村)布施の布施遺跡、高崎市(旧榛名町)下室田の高権遺跡、昭和34(1959)年にみなかみ町(旧水上町)の乾田遺跡で、同年沼田市(旧白沢村)の高平遺跡で敷石住居が発見される。昭和42(1967)年には渋川市(旧北橋村)の小室遺跡で敷石住居が発見されて翌年に県指定史跡となって保存されている。この小室遺跡の報告(昭和43年)の中で、相沢貞順は「現在まで、群馬県地方では所謂敷石住居跡は13例ほど発見調査されている。それらの敷石住居跡とほぼ同時期と考えられる遺跡で、敷石でない住居跡は10例ほど調査されている。・・・(後略)・・・」と述べており、昭和40年代前半までの状況が窺える。昭和40年代後半になると発掘調査事例が次第に増え、昭和46(1971)年に高崎市若田遺跡で、昭和47(1972)年には高山村の中山遺跡で敷石住居が発見されて翌年に県指定史跡に指定された。昭和47年から同49(1974)年にかけては渋川市(旧赤城村)の三原田遺跡、昭和49年に藤岡市中大塚遺跡と敷石住居の検出例は増した。昭和50年代以降も調査事例が増え続け、昭和51(1976)年調査のみなかみ町梨の木平遺跡、昭和52(1977)年調査の前橋市荒砥前原遺跡、昭和53(1978)年から断続的に調査された渋川市空沢遺跡、昭和54・55(1979・1980)年調査の前橋市安通・洞遺跡、昭和55年調査の前橋市荒砥二之堰遺跡等々、敷石住居の検出例は急増の一途をたどった。

荒砥二之堰遺跡の報告を行った石坂茂の集成(石坂1985)では、74遺跡、約160軒。群馬県史には約80遺跡、約180軒との、相沢貞順の記述がみられる(相沢

1988)。さらに、三ッ子沢中遺跡の報告で、池田政志による集成(池田 2000)があり、134遺跡、308軒が挙げられている。

一方、柄鏡形(敷石)住居に関する研究を盛欲的に推し進めている研究者に山本輝久がいる。氏の一連の論功の中で、群馬県について触れた「第2章第3節 柄鏡形(敷石)住居成立の様相」および「第2章第4節 柄鏡形(敷石)住居の発展と終末の様相」『敷石住居址の研究』(山本 2002)では、加曽利E式末葉期に相当する事例として16遺跡を挙げ、この内の5遺跡(富岡市田篠中原遺跡、渋川市空沢遺跡、同三原田遺跡、高崎市長井(権田)遺跡、中之条町久森環状列石遺跡)は古段階に相当する事例として注視している。また、後期初頭(称名寺式期)に相当する事例として27遺跡を挙げ、後期前葉(堀之内式期)に相当する事例として34遺跡、後期中葉(加曽利B式期)以降に相当する事例として6遺跡を挙げている。そして、同書「柄鏡形(敷石)住居址発見遺跡 参考文献」に掲載された群馬県の遺跡数は157遺跡を数える。その後出版された、「柄鏡形(敷石)住居址発見遺跡 参考文献」『柄鏡形(敷石)住居と縄文社会』(山本 2010)に掲載された群馬県の遺跡数は195遺跡を数える。この群馬県195遺跡という数字は、山本の集成(山本 2010)の中で、最多数である神奈川県243遺跡、次いで東京都の206遺跡に次ぐ遺跡数であり、さらに埼玉県139遺跡、長野県137遺跡、山梨県71遺跡・・・と続く。実に群馬県においては、山本の2論功の間(8年)に、35遺跡もの増加があったわけである。その要因には、ハツ場ダム関連の調査が挙げられ、近年の検出数は目を見張るような状況となっている。

本研究では、群馬県内の柄鏡形(敷石)住居の実態に迫るべく、先ずはその集成に取り組み、時期的な変遷、形態的な差異および小地域的な様相差等々と、視点を進展させながら徐々に明らかにしていくことを目的とした。その中において、本稿では集成された遺跡、遺構、文献といったデータベースの部分に掲載するものである。勿論、現在、整理作業中あるいは発掘調査中の事例もあることは十分に承知しており、報告後には随時補追していく予定である。

なお、本集成に当たっては、東毛地域を鈴木佑太郎、西毛地域を関根愼二、北毛地域を谷藤保彦が分担し、掲載した一覧表の編集および本文執筆は谷藤が行った。また、遺構の時期認定(出土土器)については、これまでの縄文セミナーで検討されてきた一連の土器型式細分に依拠した。

2. 群馬県内の集成

集成の対象とした住居は、中期後葉(加曽利E3式)以降の柄鏡形(敷石)住居を中心に、柄鏡形の前段となる小

張出しをもつ住居、後期後葉から晩期の方形に張出す入口部をもつ住居までを含めた。集成した表1の項目の内、住居時期については出土した土器型式を基に、加曽利E3式期を中期後葉、加曽利E4式期を中期末葉、称名寺式および加曽利E式の後期に継続する土器群の時期を後期初頭、堀之内式期を後期前半、加曽利B式期を後期中葉、高井東式期以降の後期を後期後葉、そして晩期、さらに詳細不明の住居や時期認定のし難い住居については詳細・時期不明として扱った。なお、各住居での規模や敷石の状況、敷石石材、連結部等の詳細データについては、紙面の都合から割愛した。

現段階(2017年10月末)で集成できた柄鏡形(敷石)住居を検出した遺跡は、表1に示したように195遺跡(東毛地域50遺跡、西毛地域75遺跡、北毛地域70遺跡)を数え、その住居数は630軒(東毛地域136軒、西毛地域185軒、北毛地域309軒)に達する。現在(2017年度)も調査中の遺跡はあり、さらに遺跡数・住居数の増加は明らかである。

次に、時期・形態別住居数をみでみる(形態別住居の中で、柄鏡形を呈して周礫のみが存在する住居は柄鏡形敷石住居に含めた)。中期後葉では、小張出し付き住居8軒(東毛・西毛地域0軒、北毛地域8軒)、張出し部をもたない敷石住居36軒(東毛地域2軒、西毛地域14軒、北毛地域20軒)、柄鏡形敷石住居15軒(東毛地域0軒、西毛地域7軒、北毛地域8軒)を数える。中期末葉では、敷石をしない柄鏡形住居2軒(東毛地域0軒、西毛地域1軒、北毛地域1軒)、張出し部をもたない敷石住居8軒(東毛地域1軒、西毛地域1軒、北毛地域6軒)、柄鏡形敷石住居65軒(東毛地域9軒、西毛地域31軒、北毛地域25軒)を数える。後期初頭では、柄鏡形住居10軒(東毛地域3軒、西毛地域0軒、北毛地域7軒)、敷石住居8軒(東毛地域0軒、西毛地域3軒、北毛地域5軒)、柄鏡形敷石住居178軒(東毛地域52軒、西毛地域31軒、北毛地域95軒)を数える。後期前葉になると柄鏡形(敷石)住居数はやや減少し、柄鏡形住居6軒(東毛地域0軒、西毛地域2軒、北毛地域4軒)、柄鏡形敷石住居88軒(東毛地域13軒、西毛地域25軒、北毛地域50軒)を数える。そして、後期中葉になると柄鏡形(敷石)住居数は激減し、柄鏡形住居0軒、柄鏡形敷石住居4軒(東毛地域2軒、西毛地域1軒、北毛地域1軒)を数える。さらに、後期後葉になると、柄鏡形住居3軒(東毛地域0軒、西毛地域2軒、北毛地域1軒)、柄鏡形敷石住居1軒(東毛・西毛地域0軒、北毛地域1軒)を数えるが、この時期になると新たに方形住居に張出し状の入り口部をもつ柄鏡形住居が出現しており柄鏡形住居に含めた。この張出し状の入り口部をもつ方形柄鏡形住居は晩期に踏襲され、計10軒(東毛地域0軒、西毛地域3軒、北毛地域7軒)を数える。

3. 東毛・西毛・北毛地域での変遷概略

県内の柄鏡形(敷石)住居について、東毛・西毛・北毛の3地域に分け、その変遷の概略を図を示しながら触れておく。

〈東毛地域〉

東毛地域における変遷の代表的な住居を、第1・2図に示した。中期後葉の加曽利E3式期には、小張出し付き住居はみられないものの、前橋市上ノ山遺跡56号住居等の2例の敷石住居がある。加曽利E3式のより新しい時期の柄鏡形敷石住居は、確認できなかった。続く中期末葉になると、伊勢崎市下田遺跡Ⅳ区1号住居を代表とする張出し部をもつ柄鏡形敷石住居を確認することができるものの9例と少ない。後期初頭は柄鏡形敷石住居が52例と最も多く、盛行した状況が如実である。前橋市市之関前田遺跡36号住居の柄鏡形敷石住居では、第1図に示した土器が共伴しており、後期初頭の古い段階に位置づけられる。また、この後期初頭期には、柄鏡形となる住居全体に敷石を施設する例、住居全体ではなく部分的に敷石を施設する例(一つには、前橋市芳賀東部団地遺跡J8号住居のように、炉から張出し部にかけて直線的に敷石を施設するものもある)、主体部へ周礫のみを施設する例等、幾種類かの敷石施設のパターンが存在する。さらに、後期前葉になると、先行期の住居形態をほぼそのまま踏襲するが、13例と減少している。そして、後期中葉になると柄鏡形敷石住居はさらに減少し、僅か2例を確認したのみである。

〈西毛地域〉

西毛地域における変遷の代表的な住居を、第3・4図に示した。中期後葉の加曽利E3式期には、富岡市田篠中原遺跡1・2・5号配石遺構とされた敷石住居が存在し、高崎市白川笠松遺跡10号住居に張出し状部分がみられ、加曽利E3式のより新しい時期には安中市野村遺跡J-18号住居の張出し部をもつ柄鏡形敷石住居が現れている。続く中期末葉には、安中市人見坂ノ上遺跡J-8号住居や田篠中原遺跡24号配石遺構、野村遺跡J-15号住居に代表される柄鏡形敷石住居が急増している。後期初頭は、先行期の住居形態をほぼそのまま踏襲し、柄鏡形敷石住居の盛行が持続している観がある。また、基本的には柄鏡形となる住居全体に敷石を施設する例が多いものの、住居全体ではなく炉から張出し部にかけて直線的に敷石を施設する例も一部にみられる。後期前葉になると、張出し部形状に変化がみられ、柄鏡形敷石住居は減少傾向に転じている。そして、後期中葉になると柄鏡形敷石住居は激減し、甘楽町福島鹿嶋下遺跡1号配石の僅か1例を確認したのみである。後期後葉から晩期にかけては、藤岡市上栗須滝川Ⅱ遺跡J-7号住居

のような方形住居の一辺に張出し部をもつ住居、さらに同遺跡J-16・17号住居にみる方形住居の入り口部として方形の小張出し部を有し、対ピット状の穴をもつ住居が存在する。

〈北毛地域〉

北毛地域における変遷の代表的な住居を、第5～7図に示した。中期後葉の加曽利E3式期に、渋川市中郷遺跡8区7号住居や長野原町長野原一本松遺跡95区47号住居にみられる、小張出し付き住居が存在し、その小張出し部に対ピット状の穴が確認できる。しかし、この段階での敷石住居は少ない。加曽利E3式のより新しい時期になると、長野原町尾坂遺跡6号住居のような明らかに張出し部をもつ柄鏡形敷石住居が現れている。続く中期末葉には、長野原町久々戸遺跡1号住居を代表とする柄鏡形敷石住居が確立しており、連結部に石囲施設が付随している。柄鏡形敷石住居が盛行する後期初頭は、先行期の住居形態をほぼそのまま踏襲している。さらに、後期前葉になると、堀之内1式の段階で長野原一本松遺跡5区60号住居のように、張出し部形状に変化がみられ、堀之内2式の段階になると主体部形状にも変化が生じだしている。柄鏡形敷石住居が激減する後期中葉は、張出し部が短くなるように思われる。そして、後期後葉から晩期にかけては、方形住居の入り口部として方形の小張出し部を有し、対ピット状の穴をも確認できる。

4. 敷石に使用される石材の傾向(地域性)

集成した柄鏡形(敷石)住居の中で、特筆する点の一つとして敷石に使用される石材がある。主に扁平礫(川原石)を利用した住居と、安山岩等の板状礫を利用した住居の2者があり、さらに両石材を併用する住居、主体部と張出し部で使い分ける住居等の折衷的な住居が存在する。

まず、扁平礫(川原石)を利用した代表的な住居として、東毛地域では前橋市荒砥前原遺跡C区3号住居、同市熊野谷遺跡J-1号住居、同市芳賀北曲輪遺跡柄鏡型敷石1号住居、みどり市瀬戸ヶ原遺跡J-6号住居、伊勢崎市三和工業団地Ⅱ遺跡156号住居、同市天ヶ堤遺跡Ⅱ区J-2、同市下田遺跡Ⅰ区1号住居、太田市上江田西田遺跡1号住居、同市一丁田遺跡J-6号住居、同市東長岡戸井口遺跡55号住居が挙げられる。西毛地域では、高崎市三ッ子沢中遺跡35号住居、藤岡市白石大御堂遺跡1号敷石住居、安中市中島遺跡J-23号住居、富岡市田篠中原遺跡の36号住居が挙げられる。北毛地域では少ないものの、渋川市三原田遺跡1-45住居、同市見立八幡遺跡1区J4号住居、昭和村糸井太夫遺跡9号住居、みなかみ町水上石器時代住居跡1・2号住居、中之条町清水遺跡1号住居等がある。

安山岩等の板状(平)礫を利用した住居は、東毛地域では前橋市堤遺跡1号住居、同市芳賀北曲輪遺跡柄鏡型敷石2号住居、同市芳賀東部団地遺跡J9号住居、同市市之関前田遺跡36号住居、同市西小路遺跡6号住居が挙げられる。西毛地域では高崎市三ッ子沢中遺跡1号住居や同市保渡田Ⅱ遺跡1号住居、安中市野村遺跡J-18号住居、富岡市諸戸日影遺跡29号住居が挙げられる。北毛地域ではかなり多く、渋川市小室遺跡1号跡や同市溝呂木大御堂遺跡、高山村中山遺跡1号住居、中之条町清水遺跡1号住居、長野原町長野原一本松遺跡や同町横壁中村遺跡等々にみられる。

安山岩板状礫と扁平礫の両石材を併用している例としては、東毛地域では前橋市芳賀東部団地遺跡J6号住居、西毛地域の高崎市三ッ子沢中遺跡16号住居、藤岡市中大塚遺跡1号敷石住居、安中市人見坂ノ上遺跡J-8号住居、北毛地域ではみなかみ町梨の木平遺跡敷石住居、渋川市三原田遺跡2-19・4-6住居、同市空沢遺跡JH1号住居(1号住居)がある。さらに、主体部と張出し部とで安山岩板状礫と扁平礫を使い分ける例に、安中市二軒在家原田遺跡J-64号住居や同市二軒在家原田Ⅱ遺跡J-2号住居がある。

以上、敷石に使用される石材について、地域別に触れてきたが、もう少し地域的な状況を記しておく。

まず、安山岩等の板状礫を利用の場合、遺跡地周辺に板状礫を産出する場所が存在することが想定できる(現時点では、産地の特定はできていない)。北毛地域および西毛地域の長野県により近い地域、さらに東毛地域でも赤城山山麓に所在する遺跡においては、安山岩等の板状礫を多用する住居の頻度が極めて高い。特に、長野県に接する北毛地域の吾妻地区では板状礫利用の住居数が極めて多く、長野県側(東信)と同様な様相を示している。この状況は、長野県側から続く安山岩地帯が群馬県側へと伸びていることに要因があるように思われる。

一方、西毛地域に所在する富岡市田篠中原遺跡36・37号住居や白石大御堂遺跡1・2号敷石住居、富岡市内匠上之宿遺跡7号住居にみられるが、川原石(扁平礫)でも緑泥片岩類等の結晶片岩を使用している。鐮川へ南側から注ぎ込む支流の神流川、鮎川、大沢川、天引川、雄川等、各河川の上流部は三波川結晶片岩類の地質となっており、西毛地域の中でも結晶片岩を入手し易い鐮川流域での特徴的な石材利用がみてとれる。むしろ、同じ西毛地域の中でも、鐮川流域以外での三波川結晶片岩類の使用は皆無に近い。

以上のように、敷石住居に使用される石材は、面の平坦な扁平あるいは板状の石材で、遺跡地周辺に産出する石材・入手し易い石材を巧みに利用しており、そこに地域的な様相をみてとれる。なお、東毛地域の平野部では、

他の山間部とは大きく状況が異なり、敷石住居自体が少ない傾向にある。伊勢崎市三和工業団地Ⅱ遺跡においては、検出された中期末葉から後期前葉の住居27軒(中期末葉11軒、後期初頭10軒、後期前葉6軒)のうち、柄鏡形敷石住居は3軒のみで圧倒的に少ない。

こうした状況を踏まえて、詳細については今後の検討を待ちたい。

5. おわりに

群馬県内における柄鏡形(敷石)住居の存在は、その遺跡数もさることながら、中期後葉の加曽利E3式期に出現していることは周知であり、その初現的な地域の一角として群馬と長野県の東・北信一帯が注目されている。また、群馬県の地理的な要因も相まって、山間部と平野部での差異や、埼玉県や栃木県・新潟県といった隣接地とのあり方の差の検討。さらには、柄鏡形(敷石)住居自体の構造的な検討として、主体部内の敷石形状と周礫・敷石外帯および主体部外形の検討、炉や埋設土器(埋甕)、柱穴の配置、主体部と張出し部の連結する部分の施設、張出し部のあり方等々、様々な検討課題が山積している。

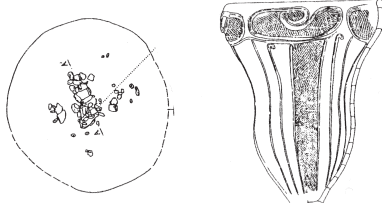

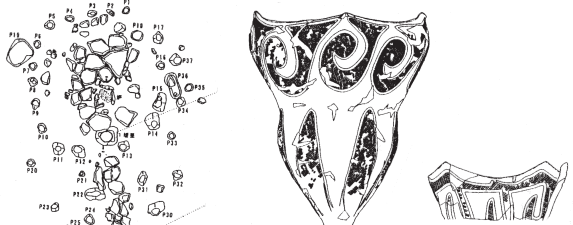
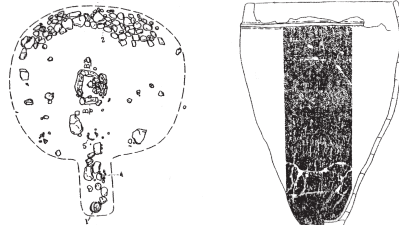
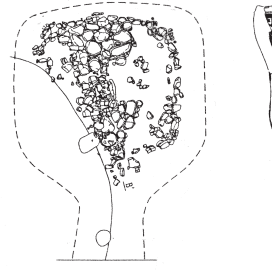
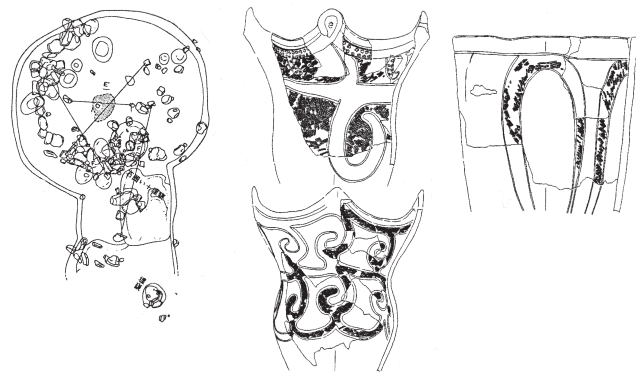

本稿は、群馬県内の柄鏡形(敷石)住居について、その実態を明らかにするべく、第一の作業として集成の結果を掲載した。この集成でわかるように、群馬県内の柄鏡形(敷石)住居を検出した遺跡は195遺跡を数え、その住居数は629軒に達する。時期的な変遷、形態的な差異および小地域的な様相差等々の詳細な検討には触れられなかったが、東毛・西毛・北毛の3地域に分け、代表的な各時期の柄鏡形(敷石)住居を示し、敷石に使用される石材の傾向について、その概略を触れておいた。住居形状や住居内における付属施設(連結部等)、周礫に関わる住居構造等々、まだまだ検討を要する事項は多い。取り敢えず、鈴木・関根・谷藤の3者による今後の検討に向けた準備としておきたい。

なお、集成した中で県内最大規模の住居は、榛東村十二前遺跡の29号住居で、全長(張出し部を含む)15.5m、幅11.5mを測る後期初頭(称名寺2式期)の大型柄鏡形住居であることを記しておく。

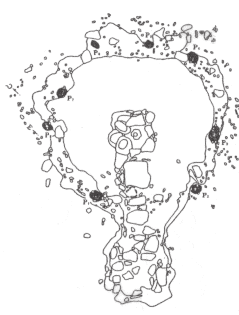
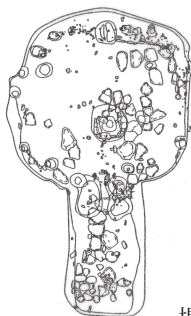
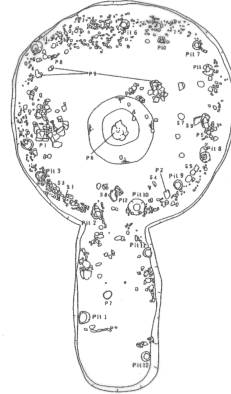

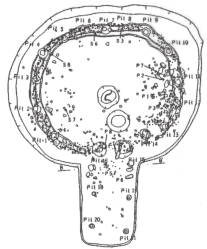
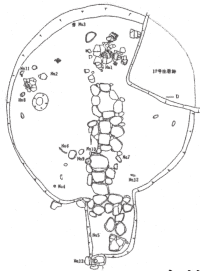
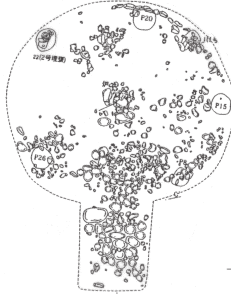
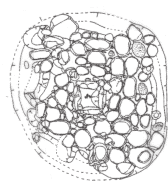
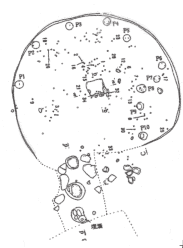
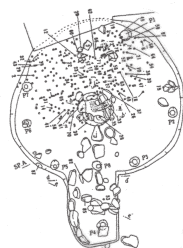
本稿は、平成29年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団職員自主研究指定研究「群馬県内における柄鏡形住居・敷石住居の集成と形態変遷」の成果の一部である。

主要引用文献

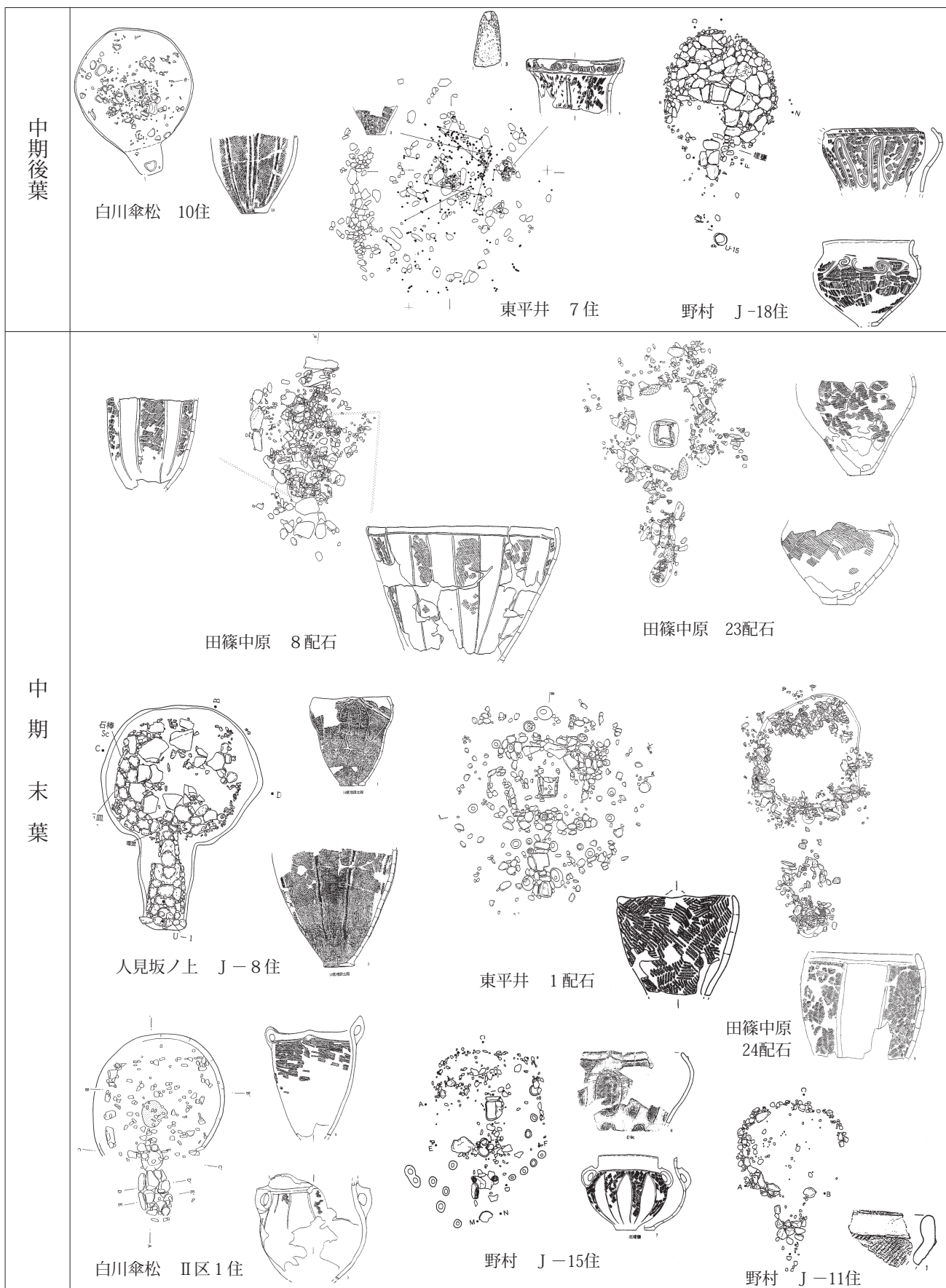
- 相沢貞順 1959「乾田縄文住居跡調査記録」「白沢の縄文遺跡見学報告」『コイノス XIV』群馬大学歴史研究部 pp.14-32
- 相沢貞順 1988「解説 縄文時代」『群馬県史 資料編1 原始古代1』群馬県史編集委員会 pp.1048-1057
- 池田政志 2000「第6章調査の成果とまとめ 三ツ子沢中遺跡の敷石住居―群馬県内検出の敷石住居の集成を通して―」『三ツ子沢中遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 pp.418-440
- 石坂 茂 1985「第3章成果と問題点 第1節2 柄鏡形住居址について」『荒砥二之堰遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 pp.241-251
- 岩沢昭作 1931「大穴石器時代住居址の調査」『毛野 第1巻第2号』復刻1985 奈良書店 pp.131
- 岩沢昭作 1935「勢多郡第一部乙種学会域内郷土資料踏査巡見記」『毛野 第3巻・毛野時報 第3号』復刻1985 奈良書店 pp.10-15
- 柴田常恵・谷川磐雄 1927「石器時代の住居址」『考古学研究録 第一号』雄山閣
- 柴田常恵 1974「石器時代住居址概論」『日本考古学選集 第12巻 柴田常恵集』(大場磐雄編)築地書館 pp.16-45
- 鈴木徳雄 1994「敷石住居址の連結部石囲施設―群馬県における敷石住居内施設の様相―」『群馬考古学手帳 4』pp.51-57
- 田島桂男 他 1971「高崎市若田縄文遺跡」『まえあし 第11号』東国古文化研究所 pp.2
- 谷藤彦彦 2017「第3章第5節第1項 柄鏡形敷石住居について」『上原Ⅲ遺跡(2)・久々戸遺跡(3)』(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 pp.138-143
- 山崎義男 1973「群馬県長井敷石住居址調査報告」「多野郡藤岡市日野字坂野遺構調査報告」「群馬郡榛名町大字下室田、高権遺跡調査報告」「利根郡新治村布施遺跡調査報告」「群馬県原市町築瀬炉址調査報告」「多野郡美原村大字譲原地内石器時代住居址調査報告」『先史遺跡考 みやま文庫52』pp.1-11、30-57、66-81
- 山本輝久 2002「第2章第3節 柄鏡形(敷石)住居成立の様相」「第2章第4節 柄鏡形(敷石)住居の発展と終末の様相」「柄鏡形(敷石)住居址発見遺跡 参考文献」『敷石住居址の研究』pp.85-187、344-395
- 山本輝久 2010「柄鏡形(敷石)住居址発見遺跡 参考文献」『柄鏡形(敷石)住居と縄文社会』pp.247-350

中期後葉	 <p>上ノ山 56住</p>	 <p>下田 IV区1住</p>
中期末葉		
後期 初頭	 <p>市之関前田 36住</p>	 <p>西小路 7住</p>
	 <p>三和工業団地 156住</p>	 <p>熊野谷 J-1住</p>
	 <p>東長岡戸井口 55住</p>	

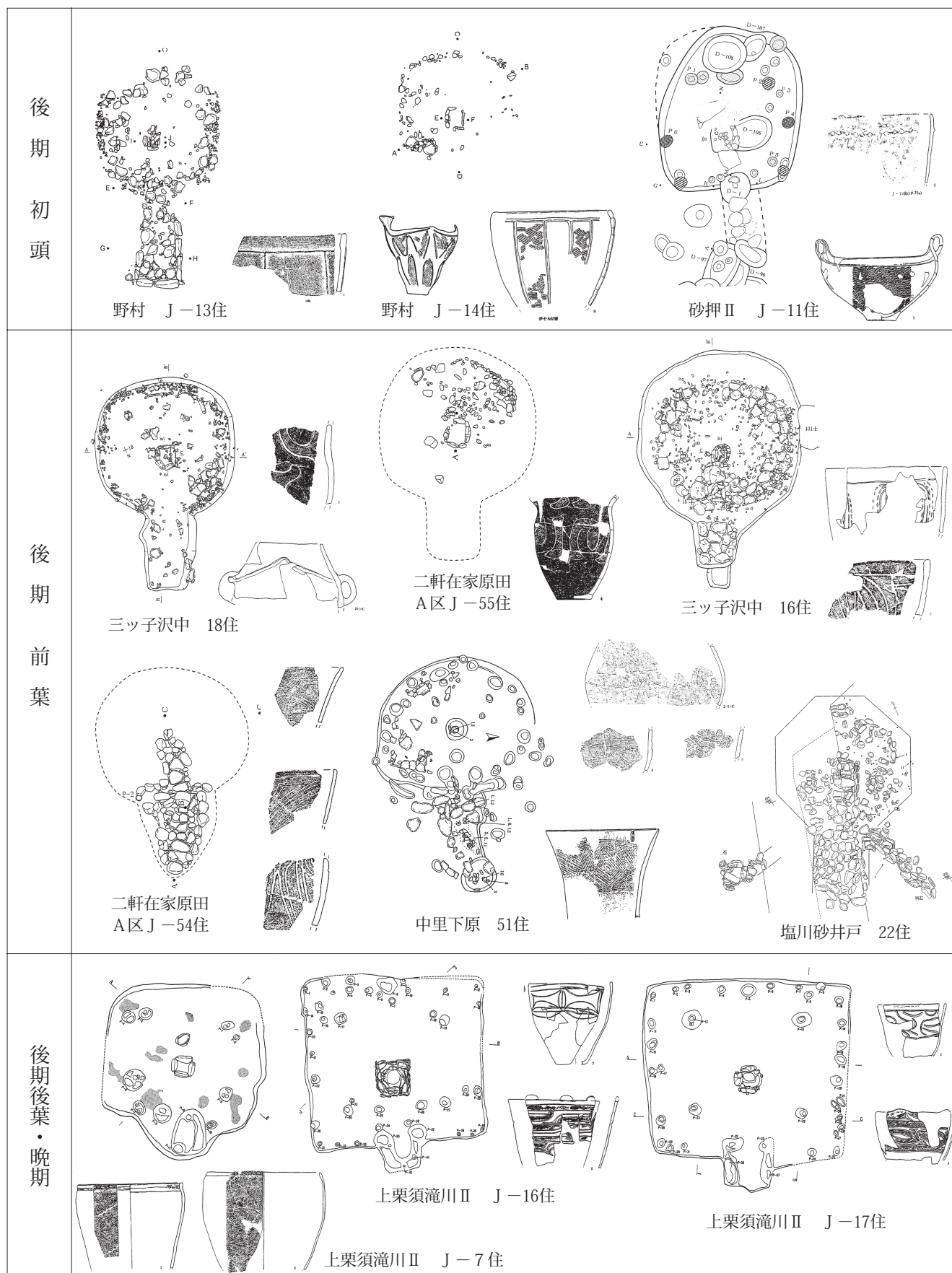
第1図 東毛地域の変遷図(1)

<p>後 期 初 頭</p>	 <p>芳賀東部団地 J 8住</p>  <p>堤 1住</p>  <p>荒砥二ノ堰 28住</p>  <p>荒砥二ノ堰 33住</p>  <p>荒砥二ノ堰 35住</p>  <p>今井柳田 18住</p>  <p>下田 II区6住</p>  <p>千網谷戸 1住</p>
<p>後 期 前 葉</p>	 <p>横俵 126住</p>  <p>横俵 118住</p>

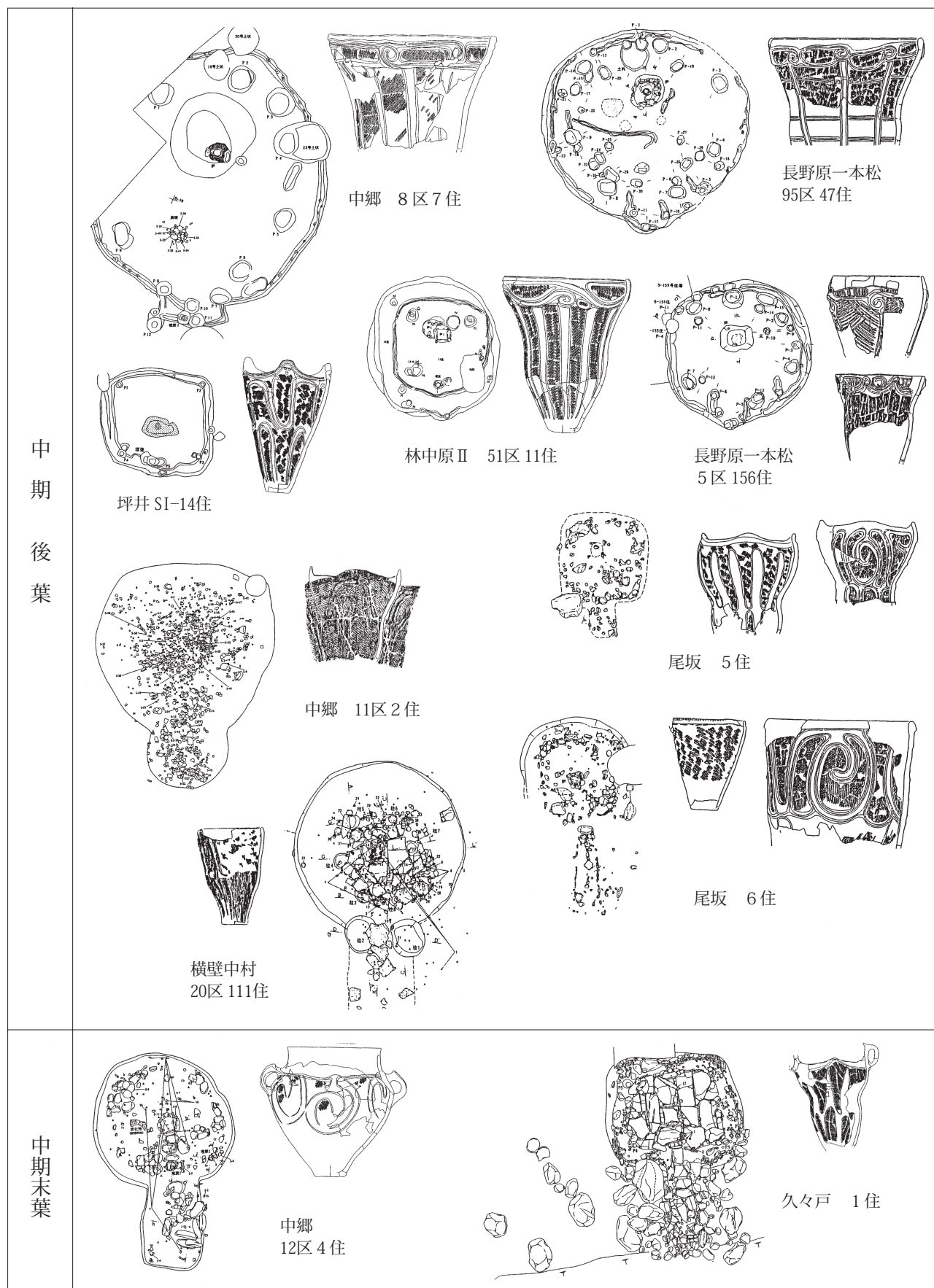
第2図 東毛地域の変遷図(2)



第3図 西毛地域の変遷図(1)



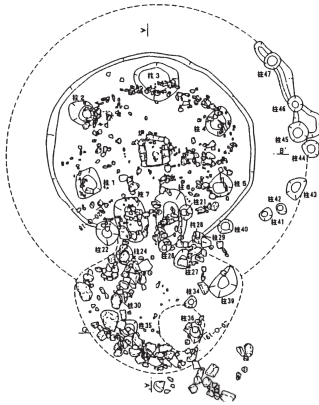
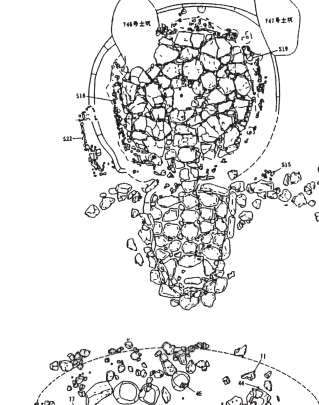
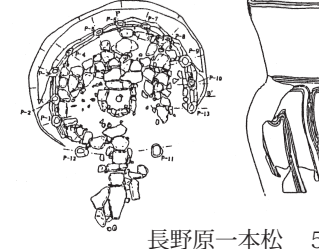
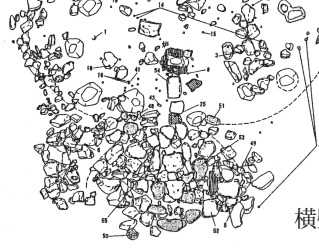
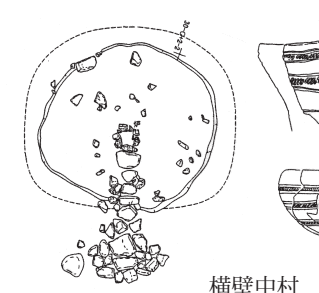
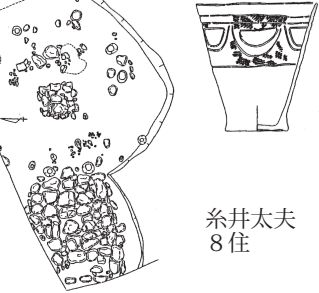
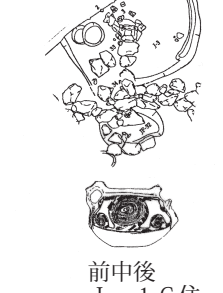
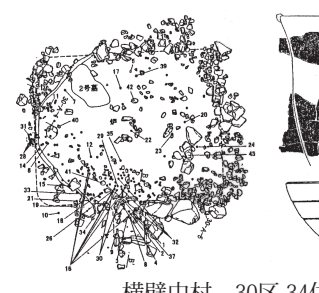
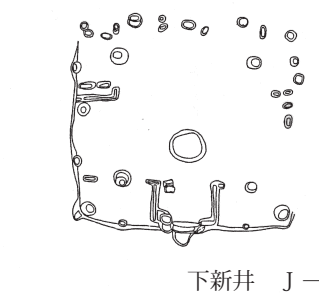
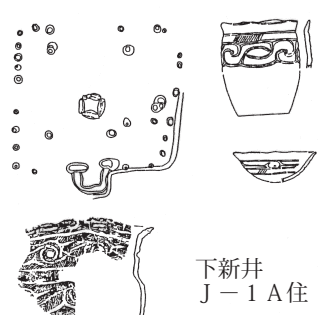

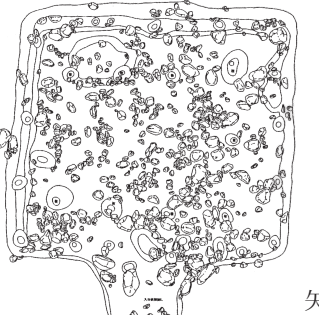
第4図 西毛地域の変遷図(2)



第5図 北毛地域の変遷図(1)



第6図 北毛地域の変遷図(2)

<p>後 期 前 葉</p>	 <p>横壁中村 20区 47住</p>  <p>長野原一本松 5区 66住</p>  <p>長野原一本松 5区 77住</p>  <p>横壁中村 20区 71住</p>
<p>後 期 中 葉</p>	 <p>横壁中村 30区 38住</p>  <p>糸井太夫 8住</p>  <p>前中後 J-1C住</p>
<p>後 期 後 葉</p>	 <p>横壁中村 30区 34住</p>  <p>下新井 J-1C住</p>
<p>晩 期</p>	 <p>下新井 J-1A住</p>  <p>茅野 3住</p>  <p>矢瀬 1住</p>

第7図 北毛地域の変遷図(3)

表1 群馬県内の柄鏡形(敷石)住居検出遺跡および時期・形態別一覧

NO.	地域	遺跡名	所在地	中期後葉			中期末葉			後期初頭			後期前葉			後期中葉		後期後葉		晩期		時期・詳細不明		
				小張	敷石	柄敷	柄鏡	敷石	柄敷	柄鏡	敷石	柄敷	柄鏡	敷石	柄敷	柄鏡	柄敷	柄鏡	柄敷	柄鏡	柄敷	柄鏡	敷石	柄敷
1	東毛地域	熊野谷遺跡	前橋市青梨子町									1												
2		堤遺跡	前橋市勝沢町									4												
3		小神明遺跡	前橋市勝沢町																					1
4		九科遺跡	前橋市勝沢町																					1
5		芳賀北曲輪遺跡	前橋市勝沢町									5												
6		芳賀北部団地遺跡	前橋市勝沢町他																			1		
7		芳賀東部団地遺跡	前橋市鳥取町他									4												2
8		大道遺跡	前橋市下大屋町													2								3
9		荒砥前原遺跡	前橋市二之宮町						1															1
10		荒砥二之堰遺跡	前橋市飯土井町									6		3										1
11		今井白山遺跡	前橋市今井町																			1		
12		筑井遺跡	前橋市筑井町																			1		
13		陣馬・庄司原遺跡	前橋市富士見町横室																					2
14		西所替戸遺跡	前橋市富士見町小暮																				1	
15		堀越並木遺跡	前橋市堀越町									2												
16		西小路遺跡	前橋市茂木町						1			1												1
17		上ノ山遺跡	前橋市茂木町		1				1															
18		市之関前田遺跡	前橋市市之関町																					
19		後原遺跡	前橋市粕川町深津																			1		
20		安通・洞遺跡	前橋市粕川町室沢									1												1
21		阿左美遺跡	みどり市笠懸町阿左美									1		1										2
22		沢田遺跡	みどり市笠懸町阿左美																			1		
23		清泉寺裏遺跡	みどり市笠懸町鹿																			1		
24		瀬戸ヶ原遺跡	みどり市大間々町桐原									1												
25		上鶴ヶ谷遺跡	桐生市新里町鶴ヶ谷																					2
26		大屋H遺跡	桐生市新里町新川																					1
27		千網谷戸遺跡	桐生市川内町											1										
28		清水通遺跡	桐生市相生町																					2
29		曲沢遺跡	伊勢崎市曲沢町																			12		4
30		今井柳田遺跡	伊勢崎市赤堀今井町											1										
31		五目牛洞山遺跡	伊勢崎市五目牛町									1												
32		社北第Ⅱ遺跡	伊勢崎市野町																			1		
33		東村曲沢遺跡	伊勢崎市国定町																			1		
34		根性坊遺跡	伊勢崎市東小保方町																					2
35		喜多町遺跡	伊勢崎市喜多町						1	1														1
36		中西原遺跡	伊勢崎市西小保方町						1															
37		三和工業団地Ⅱ遺跡	伊勢崎市三和町									3												
38		天ヶ堤遺跡	伊勢崎市三和町					1	2			11		1										1
39		大上遺跡	伊勢崎市上田町									2												
40		下田遺跡	伊勢崎市田部井町		1				2			7		2										1
41		北米岡C遺跡	伊勢崎市境米岡																			1		
42		三ツ木皿沼遺跡	伊勢崎市境三ツ木						1															
43		上江田西田遺跡	太田市新田下田中											2										
44		檜花遺跡	太田市新田小金井町						1															
45		北宿・観音前遺跡	太田市新田町大根・上江田											1										
46		一丁田遺跡	太田市新田町大根																					1
47		生品神社遺跡	太田市藪塚町仲原																					1
48		西長岡宿遺跡	太田市西長岡町											1										
49		大道東遺跡	太田市東今泉町									1												1
50		東長岡戸井口遺跡	太田市東長岡町									1												
		小計(東毛地域)		0	2	0	0	1	9	3	0	52	0	0	13	0	2	0	0	0	0	0	22	32
51	西毛地域	保渡田Ⅱ遺跡	高崎市保渡田						1															
52		西浦北遺跡	高崎市福島町				1																	
53		三ッ子沢中遺跡	高崎市榛名町三ッ子沢									4		1										
54		白川笹塚遺跡	高崎市榛名町白岩						1															
55		高浜広神遺跡	高崎市榛名町高浜						2															
56		高権遺跡	高崎市榛名町室田																				1	
57		川浦遺跡	高崎市倉洲町川浦																				1	

NO.	地域	遺跡名	所在地	中期後葉			中期末葉			後期初頭			後期前葉			後期中葉		後期後葉		晩期		時期・詳細不明		
				小張	敷石	柄敷	柄鏡	敷石	柄敷	柄鏡	敷石	柄敷	柄鏡	敷石	柄敷	柄鏡	柄敷	柄鏡	柄敷	柄鏡	柄敷	柄鏡	敷石	柄敷
58	西毛地域	長井(権田)遺跡	高崎市倉渕町権田																				1	
59		白川傘松遺跡	高崎市箕郷町白川		2	1			2														1	
60		神ヶ原遺跡	高崎市中里町神ヶ原																			1		
61		神保比良遺跡	高崎市吉井町神保																			1		
62		塩川砂井戸遺跡	高崎市吉井町塩川											1										
63		万相寺遺跡	高崎市宿大類町万相寺											1										
64		正観寺遺跡	高崎市小八木町・正観寺町																				1	
65		小八木志志貝戸遺跡	高崎市小八木町							1													1	
66		田端遺跡	高崎市阿久津町											2										
67		若田遺跡	高崎市若田町																				1	
68		若田原遺跡	高崎市若田町							1													1	
69		大島原遺跡	高崎市八幡町																			1		
70		譲原遺跡	藤岡市鬼石字譲原																				1	
71		白石大御堂遺跡	藤岡市白石					1	1															
72		馬渡戸遺跡	藤岡市上日野																			1		
73		山間遺跡	藤岡市藤岡																			1		
74		高木遺跡	藤岡市高山																			1		
75		光徳寺裏山遺跡	藤岡市山崎																			1		
76		西原遺跡	藤岡市篠塚																			2		
77		薬師裏遺跡	藤岡市上栗須											1										
78		上栗須寺前遺跡(薬師裏)	藤岡市上栗須											1									2	
79		細谷戸遺跡	藤岡市上日野																			1		
80		坂野遺跡	藤岡市上日野																			1		
81		中大塚遺跡	藤岡市中大塚							1														
82		平地前遺跡	藤岡市東平井																			1		
83		東平井工業団地遺跡	藤岡市東平井字寺西		1				3	1													1	
84		中栗須滝川Ⅱ遺跡	藤岡市中栗須字滝川														2		3					
85		谷地C遺跡	藤岡市中栗須字谷地									1												
86		谷地D遺跡	藤岡市中栗須字社宮司									1												
87		坂原遺跡	藤岡市鬼石																			1		
88		保美農山遺跡	藤岡市鬼石																			1		
89		金剛寺下遺跡	藤岡市鬼石																			1		
90		橋下遺跡	藤岡市鬼石																			1		
91		八塩遺跡	藤岡市鬼石																			1		
92		白倉下原遺跡	甘楽町白倉						2	1			3											
93		福島鹿嶋下遺跡	甘楽町福島字鹿嶋下													1								
94		柳瀬灯跡	安中市原市町																			1		
95		中野谷下宿東遺跡	安中市中野谷											3										
96		中野谷天神原遺跡	安中市中野谷							2													4	
97		中野谷東畑遺跡	安中市中野谷						1															
98		砂押Ⅱ遺跡	安中市中野谷字砂押							1														
99		砂押Ⅲ遺跡	安中市中野谷字砂押																			2		
100		中島Ⅰ・Ⅱ遺跡	安中市中野谷字中島			1			2	1	5			2									4	
101		大道南遺跡	安中市中野谷字大道南																				3	
102		北原遺跡	安中市東上秋間																				2	
103		野村遺跡	安中市東上秋間		1	2			3		3												2	
104		八幡平Ⅱ遺跡	安中市築瀬字八幡								1													
105		道前久保Ⅱ遺跡	安中市上間仁田字道前久保						2															
106		行田梅木平遺跡	安中市松井田町行田			2				1		2											1	
107		新堀東源ヶ原遺跡	安中市松井田町新堀						1															
108		行田大道北遺跡	安中市松井田町行田							1														
109		仁田遺跡	安中市松井田町入山								3												1	
110		暮井遺跡	安中市松井田町入山																				1	
111		二軒在家二本杉遺跡	安中市松井田町二軒在家										1											
112		国衙朝日遺跡	安中市松井田町国衙							1														
113		下増田上田中遺跡	安中市松井田町下増田																				1	
114		坂本北裏遺跡	安中市松井田町坂本																				1	

NO.	地域	遺跡名	所在地	中期後葉			中期末葉			後期初頭			後期前葉			後期中葉		後期後葉		晩期		時期・詳細不明		
				小張	敷石	柄敷	柄鏡	敷石	柄敷	柄鏡	敷石	柄敷	柄鏡	敷石	柄敷	柄鏡	柄敷	柄鏡	柄敷	柄鏡	柄敷	柄鏡	敷石	柄敷
115	西毛地域	二軒在家原田遺跡	安中市松井田町二軒在家									3			1									
116		二軒在家原田Ⅱ遺跡	安中市松井田町二軒在家												2									
117		人見坂ノ上遺跡	安中市松井田町人見						2															
118		人見東中原遺跡	安中市松井田町人見		3				2															
119		人見西中原遺跡	安中市松井田町人見		1																			
120		本宿遺跡	富岡市一ノ宮字本宿																					1
121		田篠中原遺跡	富岡市田篠		5	1			4															1
122		南蛇井増光寺遺跡	富岡市南蛇井		1						1				3								1	2
123		内匠上之宿遺跡	富岡市内匠						1						2									
124		中里下原遺跡	富岡市妙義町中里									2			1									3
125		下鎌田遺跡	下仁田町馬山						1															2
		小計(西毛地域)		0	14	7	1	1	31	0	3	31	2	2	25	0	1	2	0	3	0	0	25	37
126	北毛地域	下新井遺跡	榛東村新井字下新井														1		2					
127		茅野遺跡	榛東村茅野																3					
128		十二前遺跡	榛東村新井							1														
129		空沢遺跡	渋川市行幸田									2											1	4
130		高原地東Ⅰ遺跡	渋川市石原									1												
131		中郷遺跡	渋川市中郷	1		1		1	1	2		4												
132		丸小山遺跡	渋川市北牧																				1	
133		薬師遺跡(仮)	渋川市伊香保町薬師																				1	
134		金井東裏遺跡	渋川市金井																				1	
135		小室遺跡	渋川市北碓町小室									1												
136		箱田遺跡群	渋川市北碓町箱田	1			1															1		
137		前中後遺跡	渋川市北碓町八崎字前中後									3			3									
138		三原田遺跡	渋川市赤城町三原田		9	2		1	5		2	14											4	2
139		中畦遺跡	渋川市赤城町三原田字中畦									1												
140		滝沢天神遺跡	渋川市赤城町滝沢									1												
141		瀧沢石器時代遺跡	渋川市赤城町滝沢・見立									1												
142		溝呂木大御堂遺跡	渋川市赤城町溝呂木									15												
143		滝沢御所遺跡	渋川市赤城町滝沢					1																
144		見立八幡遺跡	渋川市赤城町見立字八幡									4												
145		中山の集落跡	渋川市赤城町深山																				1	
146		藤木住居跡	渋川市赤城町長井																				1	
147		中山遺跡	高山村中山字原									1												
148		清水遺跡	中之条町山田字清水												1									
149		宿割遺跡	中之条町大塚		2			1																
150		久森環状列石遺跡	中之条町上沢渡		1				2															
151		四万遺跡(四万途中遺跡)	中之条町四万					1	1														3	
152		棚界戸遺跡	中之条町沢渡																				1	
153		赤岩遺跡(仮)	中之条町赤岩																				1	
154		上郷遺跡	東吾妻町三島字上郷・大沢		1						1													
155		郷原遺跡	東吾妻町郷原																				1	
156		上郷岡原遺跡	東吾妻町三島字上郷							1	7			4									1	
157		新井遺跡	東吾妻町厚田																					1
158		玉料遺跡	東吾妻町深沢																				1	
159		堀井戸遺跡	東吾妻町萩生																				1	
160		榧Ⅱ遺跡	長野原町大津字榧											1									2	
161		向原遺跡	長野原町長野原字向原											1										1
162		滝原Ⅲ遺跡	長野原町応桑字滝原					1																
163		坪井遺跡	長野原町大津字坪井	2				1			1													1
164		林中原Ⅰ遺跡	長野原町林字中原												1									
165		林中原Ⅱ遺跡	長野原町林字中原	2				1			2			1										
166		上原Ⅳ遺跡	長野原町林字上原											3										
167		久々戸遺跡	長野原町長野原					1																
168		西久保Ⅰ遺跡	長野原町横壁字西久保		2			1			1												1	
169		長野原一本松遺跡	長野原町長野原		2			3	3	11	3		6									2		
170		横壁中村遺跡	長野原町横壁	1		3		1	5	1	14	1		22		1		1				2	3	10

NO.	地域	遺跡名	所在地	中期後葉			中期末葉			後期初頭			後期前葉			後期中葉		後期後葉		晩期		時期・詳細不明		
				小張	敷石	柄敷	柄鏡	敷石	柄敷	柄鏡	敷石	柄敷	柄鏡	敷石	柄敷	柄鏡	柄敷	柄鏡	柄敷	柄鏡	柄敷	柄鏡	敷石	柄敷
171	北毛地域	尾坂遺跡	長野原町長野原			2			2															
172		石川原遺跡	長野原町川原湯																					1
173		東宮遺跡	長野原町川原畑																					1
174		古屋敷住居跡	長野原町応桑																				1	
175		東平遺跡	嬭恋村鎌原	1	1									1										1
176		糸井太夫遺跡	昭和村糸井字太夫								3			1										
177		寺入遺跡	沼田市石墨町寺入						1		1													
178		上光寺遺跡	沼田市下登知町上光寺											2										1
179		寺谷Ⅱ遺跡	沼田市白沢町下古語父			2																		
180		下清水遺跡	沼田市上久屋																				1	
181		高平遺跡	沼田市白沢町高平																					1
182		発地寺沢遺跡(仮)	沼田市池田																				1	
183		諏訪遺跡(仮)	沼田市沼須																				1	
184		篠尾遺跡(仮)	沼田市下川田																				1	
185		高泉石器時代跡	沼田市利根町利根																				1	
186		土出北原遺跡	片品村土出																				1	
187		宮山遺跡(仮)	川場村生品																				1	
188		梨の木平遺跡	みなかみ町								1													
189		後閑地区遺跡群	みなかみ町後閑										1											1
190		矢瀬遺跡	みなかみ町月夜野																2					
191		布施遺跡	みなかみ町布施																					1
192		布施上原遺跡	みなかみ町布施上原								7			2										1
193		深沢B遺跡	みなかみ町月夜野字深沢																			1		
194		乾田遺跡	みなかみ町乾田																					1
195		水上石器時代住居跡	みなかみ町大穴																					3
		小計(北毛地域)		8	20	8	1	6	25	7	5	95	4	0	50	0	1	1	1	7	0	6	33	31
		住居軒数 計		8	36	15	2	8	65	10	8	178	6	2	88	0	4	3	1	10	0	6	80	100

群馬県柄鏡形(敷石)住居文献一覧

1. 熊野谷遺跡
前橋市埋蔵文化財発掘調査団 1989『熊野谷遺跡』
2. 堤遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2013『堤遺跡』
3. 小神明遺跡
前橋市史編さん委員会 1971『前橋市史第Ⅰ巻』
4. 九科遺跡
前橋市教育委員会 1984『小神明遺跡群Ⅱ 倉本遺跡 九科遺跡 西田遺跡 大明神遺跡』
5. 芳賀北曲輪遺跡
前橋市埋蔵文化財発掘調査団 1990『群馬県前橋市芳賀北曲輪遺跡』
6. 芳賀北部団地遺跡
日本考古学協会 1975『日本考古学年報27』
7. 芳賀東部団地遺跡
前橋市教育委員会 1990『芳賀団地遺跡群 第3巻 芳賀東部団地遺跡Ⅲ 一縄文・中近世編一』
8. 大道遺跡
前橋市埋蔵文化財発掘調査団 1991『横俵遺跡群Ⅱ』
9. 荒砥前原遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1985『荒砥前原遺跡 赤石城址』
10. 荒砥二之堰遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1985『荒砥二之堰遺跡』
11. 今井白山遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1993『今井白山』
12. 筑井遺跡
築地書館 1974『日本考古学選集第12巻柴田常恵集』
13. 陣馬・庄司原遺跡
富士見村教育委員会 『陣馬・庄司原古墳群』
14. 西所替戸遺跡
富士見村教育委員会 1979『富士見村誌 続編』
15. 堀越並木遺跡
大胡町教育委員会 2004『堀越並木(A・C地点)遺跡』
16. 西小路遺跡
大胡町教育委員会 1994『西小路遺跡』
大胡町教育委員会 2004『西小路遺跡』
17. 上ノ山遺跡
大胡町教育委員会 1992『中川原遺跡群 上ノ山遺跡』
18. 市之関前田遺跡
宮城村教育委員会 1992『市之関前田遺跡Ⅲ』
19. 後原遺跡
粕川村教育委員会 1986『遺跡大辞典』
20. 安通・洞遺跡
粕川村教育委員会 1981『稲荷山K1・安通, 洞A3』
前橋市教育委員会 2013『安通・洞No. 2遺跡』
21. 阿左美遺跡
みどり市教育委員会 2010『みどり市内遺跡1』
みどり市教育委員会 2012『みどり市内遺跡3』
みどり市教育委員会 2013『みどり市内遺跡4』
22. 沢田遺跡
笠懸町教育委員会 1993『笠懸町内遺跡Ⅰ』
23. 清泉寺裏遺跡
日本考古学協会 1988『日本考古学年報39』
24. 瀬戸ヶ原遺跡
大間々町教育委員会 1999『瀬戸ヶ原遺跡(A区)』
25. 上鶴ヶ谷遺跡
新里村教育委員会 1982『上鶴ヶ谷遺跡』
26. 大屋H遺跡
笠懸野岩宿文化資料館 1999『群馬の注口土器』
27. 千網谷戸遺跡
桐生市教育委員会 1995『平成6年度発掘調査概報』
28. 清水通遺跡
桐生市教育委員会 2004『平成16年度第2回市内遺跡発掘調査速報』
29. 曲沢遺跡
赤堀村教育委員会 1978『曲沢遺跡発掘調査概報』
赤堀村教育委員会 1979『曲沢遺跡発掘調査概報2』
赤堀町教育委員会 1998『町内遺跡発掘調査概報』
30. 今井柳田遺跡
赤堀村教育委員会 1981『今井柳田遺跡発掘調査概報』
31. 五目牛洞山遺跡
赤堀町教育委員会 1980『五目牛洞山遺跡発掘調査概報』
32. 社北第Ⅱ遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1998『年報17』
33. 東村曲沢遺跡
佐波郡東村教育委員会 1978『佐波郡東村曲沢遺跡』
34. 根性坊遺跡
佐波郡東村教育委員会 1982『根性坊・上中西遺跡』
35. 喜多町遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2011『喜多町遺跡』
36. 中西原遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2012『中西原遺跡』
37. 三和工業団地Ⅱ遺跡
伊勢崎市教育委員会 2004『三和工業団地Ⅱ遺跡』
38. 天ヶ堤遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2007『天ヶ堤遺跡(1)』
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2008『天ヶ堤遺跡(2)』
39. 大上遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2008『大上遺跡』
40. 下田遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2007『下元屋敷遺跡・下田遺跡』
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2008『下田遺跡(2)』
41. 北米岡G遺跡
境町教育委員会 1976『境町北米岡G・H地点遺跡発掘調査報告書』
42. 三ツ木皿沼遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2000『三ツ木皿沼遺跡』
43. 上江田西田遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2010『上江田西田遺跡 源六堰遺跡』
44. 槍花遺跡
新田町教育委員会 2000『新田東部遺跡群Ⅱ』
45. 北宿・観音前遺跡
新田町教育委員会 1993『北宿・観音前遺跡』
46. 一丁田遺跡
新田町教育委員会 1993『大根南遺跡群』
47. 生品神社遺跡
山本輝久 2010『柄鏡形(敷石)住居と縄文社会』
48. 西長岡宿遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2010『西長岡宿遺跡』
49. 大道東遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2009『大道東遺跡(1)』
50. 東長岡戸井口遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1999『東長岡戸井口遺跡』
51. 保渡田Ⅱ遺跡
群馬町教育委員会 1982『昭和56年度埋蔵文化財調査概略』
52. 西浦北遺跡
群馬町教育委員会 1989『西浦北遺跡』
53. 三ツ子沢中遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2000『三ツ子沢中遺跡』
54. 白川笹塚遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2000『白川笹塚遺跡』
55. 高浜広神遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1998『高浜広神遺跡』
56. 高権遺跡
山崎義男 1973『先史遺跡考 みやま文庫52』
57. 川浦遺跡
倉渕村誌編集委員会 1975『倉渕村誌』
58. 長井(権田)遺跡
上毛史学5 1954『権田敷石住居跡報告』
倉渕村誌編集委員会 1975『倉渕村誌』
59. 白川傘松遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1995『白川傘松遺跡遺構編』
60. 神ヶ原遺跡
群馬大学尾崎研究室 1969『尾崎研究室研究調査報告第3輯』
61. 神保比良遺跡
群馬県教育委員会 1972『遺跡台帳西毛編』

62. 塩川砂井戸遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2015『塩川砂井戸遺跡』
63. 万相寺遺跡
高崎市教育委員会 1985『万相寺遺跡』
64. 正観寺遺跡
高崎市教育委員会 1980『正観寺遺跡群(Ⅱ)』
65. 小八木志志貝戸遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1988『小八木志志貝戸遺跡』
66. 田端遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1988『田端遺跡』
67. 若田遺跡
東国古文化研究所 1971『まえあし第11号』
68. 若田原遺跡
鈴木徳雄 1994『「敷石住居址の連結部石囲施設」『群馬考古学手帳4』 pp.51-57
69. 大島原遺跡
日本考古学協会 1977『日本考古学年報28』
70. 譲原遺跡
山崎義男 1973『先史遺跡考 みやま文庫52』
71. 白石大御堂遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1993『白石大御堂遺跡』
72. 馬渡戸遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1993『白石大御堂遺跡』
73. 山間遺跡
藤岡市史編纂委員会 1993『藤岡市史資料編』
74. 高木遺跡
群馬県教育委員会 1964『群馬の遺跡』
75. 光徳寺裏山遺跡
藤岡市役所 1957『藤岡町史』
76. 西原遺跡
藤岡市史編纂委員会 1993『藤岡市史資料編』
77. 薬師裏遺跡
藤岡市教育委員会 1990『小野西部地区遺跡群発掘調査報告書』
藤岡市史編纂委員会 1993『藤岡市史資料編』
78. 上栗須寺前遺跡(薬師裏)
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1994『上栗須寺前遺跡群Ⅱ』
79. 細谷戸遺跡
群馬県教育委員会 1964『群馬の遺跡』
80. 坂野遺跡
藤岡市史編纂委員会 1993『藤岡市史資料編』
81. 中大塚遺跡
藤岡市史編纂委員会 1974『藤岡市中大塚縄文式敷石遺構調査概報』
藤岡市史編纂委員会 1993『藤岡市史資料編』
82. 平地前遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1997『年報16』
83. 東平井工業団地遺跡
藤岡市教育委員会 2001『藤岡市東平井工業団地造成に伴う埋蔵文化財補調査報告書』
84. 中栗須滝川Ⅱ遺跡
藤岡市教育委員会 2002『中栗須滝川Ⅱ遺跡』
85. 谷地C遺跡
藤岡市教育委員会 2006『公立藤岡総合病院外来センター建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』
86. 谷地D遺跡
藤岡市教育委員会 2004『小野地区水田址遺跡社宮司地点谷地D遺跡』
87. 坂原遺跡
下久保ダム埋蔵文化財調査委員会 1968『下久保ダム水没地域埋蔵文化財発掘調査報告書』
88. 保美農山遺跡
下久保ダム埋蔵文化財調査委員会 1968『下久保ダム水没地域埋蔵文化財発掘調査報告書』
89. 金剛寺下遺跡
鬼石町教育委員会 1974『鬼石町誌』
90. 橋下遺跡
鬼石町教育委員会 1974『鬼石町誌』
91. 八塩遺跡
鬼石町教育委員会 1974『鬼石町誌』
92. 白倉下原遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1994『白倉氏下原・天引向原遺跡Ⅱ』
93. 福島鹿嶋下遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1998『田篠塚原遺跡・福島駒形遺跡・福島鹿嶋下遺跡・福島椿森遺跡』
94. 柳瀬炉跡
山崎義男 1973『先史遺跡考 みやま文庫52』
95. 中野谷下宿東遺跡
安中市教育委員会 1993『中野谷地区遺跡群発掘調査概報』
96. 中野谷天神原遺跡
安中市教育委員会 1994『中野谷地区遺跡群』
97. 中野谷東畑遺跡
安中市教育委員会 1994『中野谷地区遺跡群』
98. 砂押Ⅱ遺跡
安中市教育委員会 2004『中野谷地区遺跡群2』
99. 砂押Ⅲ遺跡
安中市教育委員会 2004『天神林遺跡・砂押Ⅲ遺跡・大道南Ⅱ遺跡・向原Ⅱ遺跡』
100. 中島Ⅰ・Ⅱ遺跡
安中市教育委員会 2004『中野谷地区遺跡群2』
101. 大道南遺跡
安中市教育委員会 2004『中野谷地区遺跡群2』
102. 北原遺跡
安中市教育委員会 1996『北原遺跡』
103. 野村遺跡
安中市教育委員会 2003『東上秋間遺跡群発掘調査報告書』
104. 八幡平Ⅱ遺跡
安中市教育委員会 2005『八幡平Ⅱ遺跡発掘調査報告書』
105. 道前久保Ⅱ遺跡
安中市教育委員会 2009『道前久保Ⅱ遺跡発掘調査報告書』
106. 行田梅木平遺跡
松井田町遺跡調査会 1997『行田梅木平遺跡』
107. 新堀東源ヶ原遺跡
松井田町遺跡調査会 1997『新堀東源ヶ原遺跡』
108. 行田大道北遺跡
松井田町遺跡調査会 1997『行田大道北遺跡』
109. 仁田遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1990『仁田遺跡・暮井遺跡』
110. 暮井遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1990『仁田遺跡・暮井遺跡』
111. 二軒在家二本杉遺跡
松井田町教育委員会 1992『二軒在家二本杉遺跡』
112. 国衙朝日遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2000『三ツ子沢中遺跡』
113. 下増田上田中遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2000『三ツ子沢中遺跡』
114. 坂本北裏遺跡
松井田町埋蔵文化財調査会 1999『群馬県碓氷郡松井田町坂本北裏遺跡』
115. 二軒在家原田遺跡
安中市教育委員会 2017『西横野中部地区遺跡群』
116. 二軒在家原田Ⅱ遺跡
安中市教育委員会 2017『西横野中部地区遺跡群』
117. 人見坂ノ上遺跡
安中市教育委員会 2017『西横野中部地区遺跡群』
118. 人見東中原遺跡
安中市教育委員会 2014『西横野東部地区遺跡群』
119. 人見西中原遺跡
安中市教育委員会 2014『西横野東部地区遺跡群』
120. 本宿遺跡
富岡市教育委員会 1981『本宿・郷土遺跡』
121. 田篠中原遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1990『田篠中原遺跡』
122. 南蛇井増光寺遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1992『南蛇井増光寺遺跡Ⅰ』
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1993『南蛇井増光寺遺跡Ⅱ』
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1997『南蛇井増光寺遺跡Ⅴ』
123. 内匠上之宿遺跡

- 群馬県埋蔵文化財調査事業団 1993『内匠上之宿遺跡』
124. 中里下原遺跡
富岡市教育委員会 2017『中里下原遺跡Ⅱ 中里中原遺跡Ⅱ 縄文時代編 中里宮平遺跡 中里中原遺跡』
125. 下鎌田遺跡
下仁田町遺跡調査会 1997『下鎌田遺跡』
126. 下新井遺跡
榛東村教育委員会 1985『新井第Ⅱ地区遺跡群発掘調査概報』
127. 茅野遺跡
榛東村教育委員会 1991『縄文時代後・晩期集落 茅野遺跡概報』
128. 十二前遺跡
榛東村教育委員会 1999『十二前遺跡概報』
山下工業株式会社 2015『十二前遺跡Ⅱ』
129. 空沢遺跡
渋川市教育委員会 1978『空沢遺跡』
渋川市教育委員会 1980『空沢遺跡第2次・諏訪ノ木遺跡発掘調査概報』
渋川市教育委員会 1982『空沢遺跡』
渋川市教育委員会 1985『空沢遺跡第5次』
130. 高源地東Ⅰ遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2006『高源地東Ⅰ遺跡』
131. 中郷遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2010『中郷遺跡(2)』
132. 丸小山遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 1999『群馬県遺跡大辞典』
133. 薬師遺跡(仮)
伊香保町役場 1970『伊香保誌』
134. 金井東裏遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2014『年報33』
135. 小室遺跡
北橘村教育委員会 1968『小室遺跡』
136. 箱田遺跡群
北橘村教育委員会 1999『箱田遺跡群(上原・三角遺跡)』
137. 前中後遺跡
渋川市教育委員会 2010『前中後遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ区』
138. 三原田遺跡
群馬県企業局 1976『三原田遺跡』
群馬県企業局 1980『三原田遺跡 第1巻(住居篇)』
群馬県企業局 1990『三原田遺跡 第2巻(中期前半期～後半初頭期篇)』
群馬県企業局 1992『三原田遺跡 第3巻(中期後半期～後期初頭期篇)』
139. 中畦遺跡
赤城村教育委員会 2000『中畦遺跡・諏訪西遺跡』
140. 滝沢天神遺跡
赤城村教育委員会 2005『滝沢天神遺跡-A地点- 棚下ひばり塚』
141. 瀧沢石器時代遺跡
渋川市教育委員会 2008『史跡瀧沢石器時代遺跡Ⅰ』
渋川市教育委員会 2008『史跡瀧沢石器時代遺跡Ⅱ』
142. 溝呂木大御堂遺跡
赤城村教育委員会 2003『溝呂木大御堂遺跡』
143. 滝沢御所遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2014『滝沢御所遺跡』
144. 見立八幡遺跡
渋川市教育委員会 2008『見立八幡遺跡』
145. 中山の集落跡
群馬県教育委員会 1972『遺跡台帳東毛編』
146. 藤木住居跡
群馬県教育委員会 1964『群馬の遺跡』
147. 中山遺跡
群馬県 1988『群馬県史 資料編Ⅰ 原始古代Ⅰ』
148. 清水遺跡
群馬県 1988『群馬県史 資料編Ⅰ 原始古代Ⅰ』
149. 宿割遺跡
中之条町教育委員会 1985『大塚遺跡群』
150. 久森環状列石遺跡
中之条町教育委員会 1985『上沢渡遺跡群』
151. 四万遺跡(四万途中遺跡)
- 群馬県埋蔵文化財調査事業団 2014『四万遺跡』
152. 棚界戸遺跡
中之条町誌編集委員会 1976『中之条町誌Ⅰ』
153. 赤岩遺跡(仮)
群馬県教育委員会 1972『遺跡台帳西毛編』
154. 上郷遺跡
東吾妻町教育委員会 2011『上郷遺跡』
155. 郷原遺跡
吾妻町教育委員会 1985『郷原遺跡』
156. 上郷岡原遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2009『上郷岡原遺跡(3)』
157. 新井遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2016『年報35』
158. 玉料遺跡
群馬県教育委員会 1964『群馬の遺跡』
159. 堀井戸遺跡
群馬県教育委員会 1964『群馬の遺跡』
160. 解Ⅱ遺跡
長野原町教育委員会 1990『解Ⅱ遺跡』
161. 向原遺跡
長野原町教育委員会 1996『向原遺跡』
162. 滝原Ⅲ遺跡
長野原町教育委員会 1997『滝原Ⅲ遺跡』
163. 坪井遺跡
長野原町教育委員会 2000『坪井遺跡Ⅱ』
長野原町教育委員会 2003『町内遺跡Ⅱ』
164. 林中原Ⅰ遺跡
長野原町教育委員会 2010『林中原Ⅰ遺跡Ⅳ』
165. 林中原Ⅱ遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2016『林中原Ⅱ遺跡(1)』
166. 上原Ⅳ遺跡
長野原町教育委員会 2015『林地区遺跡群』
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2008『上原Ⅳ遺跡』
167. 久々戸遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2017『上原Ⅲ遺跡 (2)・久々戸遺跡(3)』
168. 西久保Ⅰ遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002『ハッ場ダム発掘調査集成(1)』
169. 長野原一本松遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002『長野原一本松遺跡(1)』
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2007『長野原一本松遺跡(2)』
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2008『長野原一本松遺跡(4)』
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2009『長野原一本松遺跡(5)』
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2013『長野原一本松遺跡(6)』
170. 横壁中村遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2005『横壁中村遺跡(2)』
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2006『横壁中村遺跡(3)』
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2007『横壁中村遺跡(5)』
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2009『横壁中村遺跡(8)』
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2009『横壁中村遺跡(9)』
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2013『横壁中村遺跡(13)』
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2014『横壁中村遺跡(14)』
171. 尾坂遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2016『尾坂遺跡(2)』
172. 石川原遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2009『年報28』
173. 東宮遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2017『年報36』
174. 古屋敷住居跡
長野原町 1976『長野原町誌』
175. 東平遺跡
嬭恋村教育委員会 1999『東平遺跡調査報告書』
嬭恋村教育委員会 2014『東平遺跡調査報告書』
嬭恋村教育委員会 2016『東平遺跡調査報告書』
176. 糸井太夫遺跡
昭和村教育委員会 1995『糸井太夫遺跡』
177. 寺入遺跡
沼田市教育委員会 1986『寺入遺跡』

178. 上光寺遺跡
沼田市教育委員会 1996『上光寺遺跡』
179. 寺谷Ⅱ遺跡
白沢村教育委員会 2003『寺谷Ⅱ遺跡』
180. 下清水遺跡
沼田市教育委員会 1993『上久屋地区遺跡群』
181. 高平遺跡
群馬大学歴史研究部 1959『コイノスXIV』
182. 発地寺沢遺跡(仮)
池田村史編纂委員会 1952『池田村史』
183. 諏訪遺跡(仮)
群馬県教育委員会 1972『遺跡台帳東毛編』
184. 篠尾遺跡(仮)
群馬県教育委員会 1972『遺跡台帳東毛編』
185. 高泉石器時代跡
群馬県教育委員会 1972『遺跡台帳東毛編』
186. 土出北原遺跡
群馬県埋蔵文化財調査事業団 2000『三ツ子沢中遺跡』
187. 宮山遺跡(仮)
群馬県教育委員会 1972『遺跡台帳東毛編』
188. 梨の木平遺跡
群馬県教育委員会 1977『梨の木平遺跡』
189. 後閑地区遺跡群
月夜野町教育委員会 2002『後閑地区遺跡群』
190. 矢瀬遺跡
月夜野町教育委員会 2005『上組北部遺跡群Ⅱ 矢瀬遺跡』
191. 布施遺跡
群馬県 1988『群馬県史 資料編 1 原始古代1』
192. 布施上原遺跡
新治村遺跡調査会 2000『布施上原遺跡』
193. 深沢B遺跡
みなかみ町教育委員会 2009『上組北部遺跡群』
194. 乾田遺跡
群馬大学歴史研究部 1959『コイノスXIV』
195. 水上石器時代住居跡
みなかみ町教育委員会 2016『史跡 水上石器時代住居跡』